

# 日本の古典を探すには

日本の古典（江戸時代までに書かれた本）の探し方をご案内します。

## 1 『国書総目録』の利用法と関連図書

『国書総目録』補訂版 全9 巻（岩波書店 1989-1991） [R025. 1]

日本の古典を探す場合にまず参照する資料。国初から慶応3（1867）年までに日本人の著編撰訳した50 万を超える和文・漢文書籍の総合目録。50 音順書名を項目に、別称・分類・著編者・成立などの記述と、所蔵先や活字版の情報が記されている。

第8 巻は「叢書目録」と「補遺」、[第9 巻]は「著者別索引」。

『古典籍総合目録』全3 巻（岩波書店 1990） [R025. 1]

『国書総目録』の編集形態を踏襲した続編。国文学研究資料館の作成による古典籍総合データベースに基づき、昭和63（1988）年度入力分までの約43,000 点を収録。活字翻刻本の情報は不掲載。

『国書人名辞典』全5 巻（岩波書店 1993-1999） [R281. 033]

『国書総目録』収録の著編者のうち、伝記が判明した人物約3 万人について解説した辞典。

### (1) 著者名のヨミがわからない場合

『日本史人名よみかた辞典』（日外アソシエーツ 1999） [R281. 033]

古文書等に記された、古代から幕末までの日本人名の読み方を調べる辞典。神名、架空、伝承名、一部外国人名を含む68,000 件を収録。排列は親字の画数順。

### (2) 書名のヨミがわからない場合

書名のヨミがわからないものは、画数から引ける「字面索引」のある次の資料を参照。

『日本古典文学大辞典 第6 巻』（岩波書店 1985） [R910. 2]

『古典文学作品名よみかた辞典』（日外アソシエーツ 2004） [R910. 33]

『全集・叢書細目総覧 古典編索引』（紀伊国屋書店 1977） [R027. 4]

『国書読み方辞典』（おうふう 1996） [R025. 1]

## 2 日本の古典を探すための主な資料

### (1) 目録・事典類

『日本古典籍書誌学辞典』（岩波書店 1999） [R020. 21]

近世以前の和書や関連のある漢籍に関する書誌学用語を中心に、古写本、古筆、書肆、蔵書家名などを項目として採録した辞典。「古典籍便覧」としても活用できる。事項、人物、作品等約3,400 項目の50 音順配列。

『全集・叢書細目総覧』全3 冊（紀伊国屋書店 1973-1989） [R027. 4]

国立国会図書館が所蔵する、明治以降に刊行された全集・叢書に収録されている資料の細目集成。配列は全集・叢書名の50 音順で、内容の細目（作品名）を、国立国会図書館の請求記号とともに総覧できる。巻末に難読索引あり。

『世界名著大事典』全8 冊、オリジナル新版補遺版（平凡社 1977） [R025、R028]

古今東西のあらゆる分野の古典的な書物11,000 点を厳選して、書名を50 音順に並べ、解説を加えた資料。第7巻は書名索引（50 音順）、第8巻は著者索引（50 音順）、欧文索引。「オリジナル新版補遺版」には1960～80 年代の新たな作家の作品を収録。

『古典文学全集・翻刻書・研究書総目録』（日外アソシエーツ 1996） [R910.31]

明治元（1868）年から平成7（1995）年までの128年間に日本国内で刊行された日本文学（古代～近世）に関する全集・翻刻書・復刻本・影印本・研究書・注釈書などを収録。児童書や受験参考書、問題集は除く。著者名索引と事項名索引あり。

『日本古典籍総合目録データベース』（国文学研究資料館：<http://basel.nijl.ac.jp/~tkoten>）

日本の古典籍の総合目録（一部、漢籍・明治本を含む）。書名、著者名、分類、年代から検索でき、古典籍の書誌・所在情報を著作及び著者の典拠情報と共に表示。

『国文学複製翻刻書目総覧』（日本古典文学会 1982） [R910.31]

慶応4（1868）年までに日本人の著編撰訳した書籍のうち、昭和20（1945）年8月から昭和55（1980）年12月までに刊行された日本文学と日本文学に関連のある書籍の複製・翻刻（復刊本を含む）を総覧した目録。書名のヨミの50音順配列、巻末には「収載叢書全集一覧」「収載雑誌紀要一覧」あり。

『日本古典文学大辞典』全6巻（岩波書店 1983-1985） [R910.2]

近世末までの日本文学全般、日本語学、関連分野の研究成果を集成編纂した辞典。事項、人物、作品、編著等の項目が50音順に約13,000項目収録され、作品、編著の項目では、複製・翻刻を紹介。第6巻に総索引および難読訓一覧あり。

『日本古典文学大事典』（明治書院 1998） [R910.2]

上代から近世までの日本文学と隣接分野を対象とし、主要な作者名・芸能者名・書名・作品名・事項など約8,000項目を50音順に収録。翻刻・影印・複製については、資料として有効なものが、参考文献については主要なもの、最新のものが掲げられている。

『日本古典文学全集・内容総覧』、『日本古典文学全集・作品名総覧』（日外アソシエーツ 2005） [R910.31]

『内容総覧』は昭和20（1945）年から平成16（2004）年までに刊行が完結した全集104種1,904冊から43,899件の日本古典文学作品、解説・資料類を記載した内容細目集。『内容総覧』の作家名索引と、作品名を50音順編集した『作品名総覧』によって、収録されている全集をたどることができる。『作品名総覧』には、和歌・俳句、書簡等は収録されていない。

『日本古典文学案内 現代語訳・注釈書』（日外アソシエーツ 2009） [R910.31]

上代から近世までの日本文学の現代語訳・注釈書を、作品別・作家別にまとめた目録。

『日本随筆辞典』（東京書籍 1986） [R914.033]

未刊・既刊を問わず、江戸時代を中心に随筆約2,400点を収録し解説した辞典。特定分野に重点をおいて記された随筆には、地誌、風俗等の分類が付されている。各項目には写本・板本・自筆本の所在や翻刻の記載もある。かな見出しの50音順配列、巻末に著者別書名索引あり。

『日記解題辞典』（東京堂出版 2005） [R210.03]

平安時代から江戸時代末期までの主要な日記500余を選び、基本的事項を解説した辞典。

『国史大辞典』全15巻17冊（吉川弘文館 1979-1997） [R210.033]

日本歴史の全領域を網羅、主要な典籍・古文書・記録や書誌学・古文書学・史料学、史学史関係の項目も多数採取。第15巻は上「補遺と史料・地名索引」、中「人名索引」、下「事項索引」の3冊。

『日本史文献解題辞典』（吉川弘文館 2000） [R210.03]

『国史大辞典』の中から、日本史を研究する上で重要な史料を選びまとめた辞典。配列はかな見出しの50音順で、巻末に典籍索引、人名索引、事項索引あり。

(2) 日本古典文学全集・叢書類（現代語訳・註釈のある主なもの）

『日本古典文学大系』全102巻（注釈）（岩波書店 1976-1980） [918] 総索引 2冊。

『新日本古典文学大系』全105巻（注釈）（岩波書店 1989-2005） [918] 総目録、索引5冊。

『新編日本古典文学全集』全88巻（注釈・訳）（小学館 1994-2002） [918]